

Akatake Times

Vol. 35
(通算 第188号)

朝晩の寒さも大分和らいできました。
しかし、季節の変わり目でもありますので、油断していると
体調を崩しかねません。
免疫力を高めるために、しっかり栄養と睡眠時間を取って、
体調管理しましょう。



『富士山頂』

昨年7月末に富士山に登頂してきました。
写真は、富士山頂にある浅間大社奥宮付近から最高峰剣ヶ峰を撮ったものです。
山頂に見える建物は富士山特別地域気象観測所(旧富士山測候所)であり、
その横が日本最高峰3776mとなります。白く見えるのは火口にある万年雪ですが、
この万年雪も年々溶け続けており、小さくなっているようです。
こんな所にも地球温暖化影響が表れており、今後の地球環境について真剣に考えて
いかなければと思いました。



撮影日時：2019年 7月 25日 写真と文：技術部 設計2課 鈴木 政和 さん

◆趣と先行き

陰暦3月は弥生、花見月、早花咲月などをはじめ多くの異名がある。風情がありロマンチックな趣と思う。風物や景色の自然を題材に、詩歌や絵画を創作するなどして風雅な趣を楽しむ「花鳥風月」を愛でる良き時代であったと、ときにうらやましく感じるこの頃である。現代に目を向けるとこういう文言がある。

「高速・大容量・低遅延が特長の5G(第5世代移動通信システム)は、既に海外では先行してサービスが開始されていますが、日本でも2020年のサービス開始を目指し、各通信キャリアが準備を進めており、2020年には本格的普及がはじまり、2023年には4Gと5Gの比率が逆転するという予測データも出ています。現在ウェブリニューアルを検討している場合、この大きな変化を視野に入れたプラン策定は欠かすことのできないポイントの一つです」(ある広告制作会社の宣伝文) いかにか科学が進歩しても、自然と心が調和した時代であってほしいと願うのは私だけだろうか。

◆下期への思い

3月に入り、いよいよ第49期も後半戦である。ある程度見通しがついている今期であるが、大きな節目である第50期が輝かしいものになるべく今を大事に過ごしていきたい。過ぎ去った年月はあつという間だが、これから訪れる時間はゆっくりしている。他人(ひと)のために有意義な日を過ごしていきたいと強く思う。歳月不待。

◆新型コロナウイルスの脅威

“見えない敵”といつどこで出会うか分からない戦いはホントしんどいものだ。思いがけない不測な大事態が発生する。今年正月明けから続いている新型コロナウイルスの出現である。政府は、3月中旬までが感染を食い止められか否かの大事なターニングポイントと発表し、不要不急な外出は控える、イベント・集会などは延期するなどの要請を出したが、国民は右往左往だ。

武漢の「原因不明の肺炎」の詳細を伝えるニュースとして、武漢市衛生健康委員会の発表が12月31日の13時38分、国内で日本人(男性)の感染情報が発表されたのは1月16日だった。その男性は1月3日に武漢で発熱し6日に帰国、同日神奈川県内の医療機関で受診したが熱が引かないので1月10日に別の医療機関に入院した。国立感染症研究所で検体を調べたところ1月15日に新型コロナウイルスに感染していることが判明した。男性は症状が軽快し、同日退院し自宅で療養している。厚生労働省は、男性の家族など帰国後の接触者の経過観察をしているが、今のところ同様の症状は出ていないという。新型コロナウイルスは、家族間など限定的なヒトからヒトへの感染の可能性は否定できないが、持続的に感染は確認されておらず、この男性から感染が広がる可能性は低いとしている。

クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」は、横浜港の大黒ふ頭の沖合に2月3日から停泊していた。厚生労働省によると、2月3日クルーズ船内で発熱などの症状がある人・症状がある人と濃厚接触した人に限定してウイルス検査を行ったとのこと。それ以外の人には検査を行わなかったという。それどころか、「このタイミングでの検査は不要」、「帰宅後体調が悪化したら自己申告して」と説明していた。しかしすでに乗客10人に新型コロナウイルスに感染していることが判明した。のちに全員の下船を中止した。

日本政府の新型コロナウイルス対策を海外メディアはこう言っている。

- ① 公衆衛生の危機対応で『こうしてはいけません』という教科書の見本のような対応
- ② 不完全な情報で最善を尽くしている可能性が高い

上記の海外メディアの評は、言い得て妙である。経営上、参考になる文言である。

我々の公私ともに不測の事態が往々に発生する。

日々の中で“考えられる最悪の事態”を予想し、対策手を用意しておくことが肝要かと思う。

不幸にも感染した人がいると、その人に対し冷たい視線を浴びせ、非常に許しがたい態度をとる場合がある。最悪な行為かと思う。感染した人と同じ辛い気持ちを共有し、バックアップすることが必要である。相手の目線に立つことが良い。

現在、東京オリンピック開催も危ぶまれている事態である。

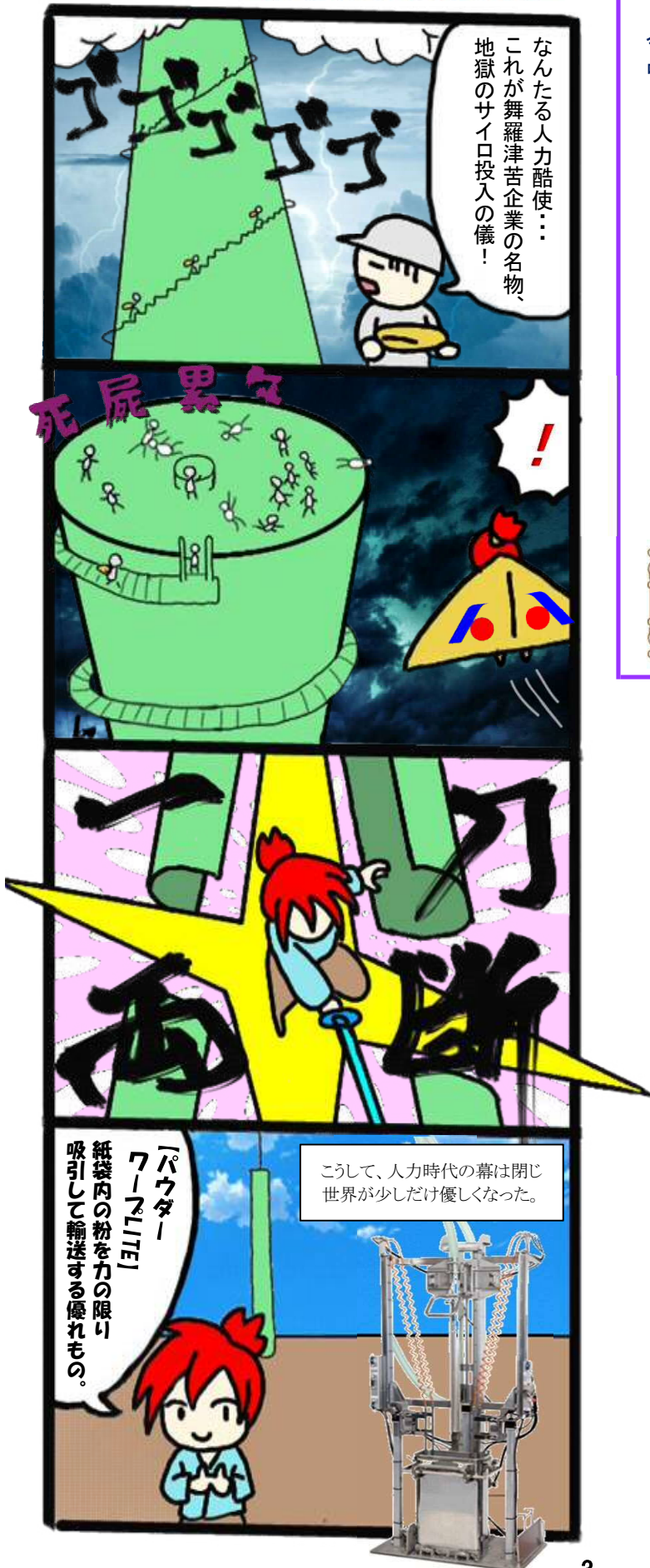
ように一日でも国内はもとより世界経済がシュリンクしない早い終息を願うばかりである。

【一陽来復】冬が終わり暖かい春が来るように、しんどいことがあっても必ず明るいあしたを訪れる。ご安全に！！

代表取締役社長 赤堀 肇紀

一命とくちかく レットサムライ

～青い空 白い雲 黒い企業 の巻～



Reception Flower

受付に華やかさを添える生け花。

今回は、2019年12月～2020年1月に生けた花の中から、選りすぐりの1点を選んでいただきました。



- ✿ バラ
- ✿ セッカンスギ
- ✿ サンキライ